

(別添1)

退職予定自衛官の再就職について



1 我が国の防衛力の中核として活躍する自衛官

自衛官の現員数（令和6年3月31日時点）

223,511人



自衛隊は**精強性を保つ**ため、多くの自衛官は**50代半ば以降（若年定年制自衛官）**または**20代～30代半ば（任期制自衛官）**で退職することになります。

【参考】自衛官の階級と定年年齢

区分	階級	略称	定年年齢
若年定年制	陸尉・海尉・空尉	尉	60歳
	陸曹補・海曹補・空曹補	曹補	
	1等陸佐・1等海佐・1等空佐	1佐	58歳
	2等陸佐・2等海佐・2等空佐	2佐	
	3等陸佐・3等海佐・3等空佐	3佐	57歳
	1等陸尉・1等海尉・1等空尉	1尉	
	2等陸尉・2等海尉・2等空尉	2尉	
	3等陸尉・3等海尉・3等空尉	3尉	56歳
	陸曹長・海曹長・空曹長	曹長	
	1等陸曹・1等海曹・1等空曹	1曹	
任期制	2等陸曹・2等海曹・2等空曹	2曹	
	3等陸曹・3等海曹・3等空曹	3曹	55歳
	陸士長・海士長・空士長	士長	
	1等陸士・1等海士・1等空士	1士	
常任制	2等陸士・2等海士・2等空士	2士	—

【参考】自衛官（約22.4万人）の人員構成



※ 士の現員数（36,684人）には、任期制自衛官（14,394人）のほか、一般曹候補生として入隊し、曹昇任までの間、士の階級にある非任期制自衛官（22,290人）が含まれる

若年定年制自衛官（幹部クラス）

管理能力・調整能力

主に防衛大学校、一般大学卒業後、幹部候補生として入隊し、基礎幹部教育、各職種専門知識、技能を学ぶ特設教育を終了した後、幹部として部隊に配置されます。その後、管理職となるための資質、専門的技術の向上に努め、**部隊指揮官など、組織運営の上位者として、各種管理及び調整等を積極的に行っていく**ます。

判断力と企画力を兼ね備えた管理職です！



管理職

若年定年制自衛官（准曹クラス）

リーダーシップ、指導力

主に一般曹候補生、任期制自衛官として一定期間自衛隊に勤務した後、隊内の選抜試験に合格した者は、所定の教育訓練終了後に3曹（階級）に昇任します。その後、部隊において**専門技術の向上を図り、部隊の専門家として、部隊等指揮官を補佐するとともに、任期制自衛官ははじめ隊員の育成に尽力していく**ます。

技術と素直さを兼ね備えた現場の監督者です！



監督者

任期制自衛官（自衛隊新卒）

チームワーク、責任感

各種教育や厳しい訓練等より、規律正しさ、責任感、実行力などを習得し、自衛隊における実務者としての経験を積み重ねています。また、生活面においても、原則として入隊から退職するまで、**同僚と寝食を共にする共同生活を送ることで、コミュニケーション能力やチームワークの意識を高め、社会人としての基礎的資質も身に付けていく**ます。

規律と積極性を持ち合わせた戦い方です！



実務者

2 退職予定自衛官に対する再就職支援

若年定年又は任期満了による退職者数（令和5年度）

約7,600人

うち若年定年退職者数

約4,200人

うち任期満了退職者数

約3,400人

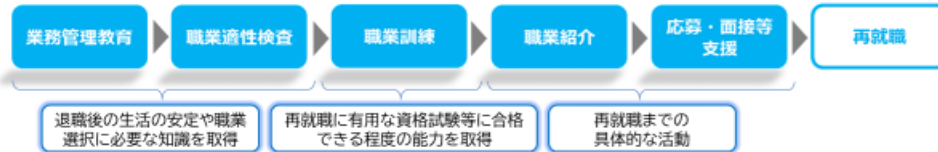
若年で退職する自衛官の退職後の再就職の支援は、雇用主たる国（防衛省）の責務であり、将来の不安の解消や優秀な人材の確保のためにも極めて重要です。

防衛省では退職予定自衛官に対し再就職に有効な職業訓練などの再就職支援を行っています。

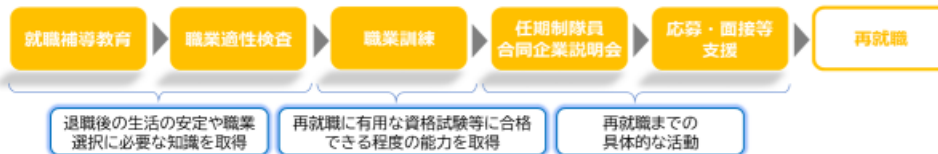
【参考】自衛官の階級と定年年齢（再掲）

区分	階級	階級	定年年齢
若年定年制	連長・連中・空尉	尉	60歳
	連中・連中・空尉	中尉	58歳
	1等陸尉・1等海尉・1等空尉	1尉	57歳
	2等陸尉・2等海尉・2等空尉	2尉	56歳
	3等陸尉・3等海尉・3等空尉	3尉	55歳
	1等陸尉・1等海尉・1等空尉	1尉	54歳
	2等陸尉・2等海尉・2等空尉	2尉	53歳
	3等陸尉・3等海尉・3等空尉	3尉	52歳
	連中・連中・空尉	中尉	51歳
	連中・連中・空尉	中尉	50歳
任期制	1等陸尉・1等海尉・1等空尉	1尉	55歳
	2等陸尉・2等海尉・2等空尉	2尉	54歳
	3等陸尉・3等海尉・3等空尉	3尉	53歳
	連中・連中・空尉	中尉	52歳

■若年定年制自衛官に対する再就職支援



■任期制自衛官に対する再就職支援



2

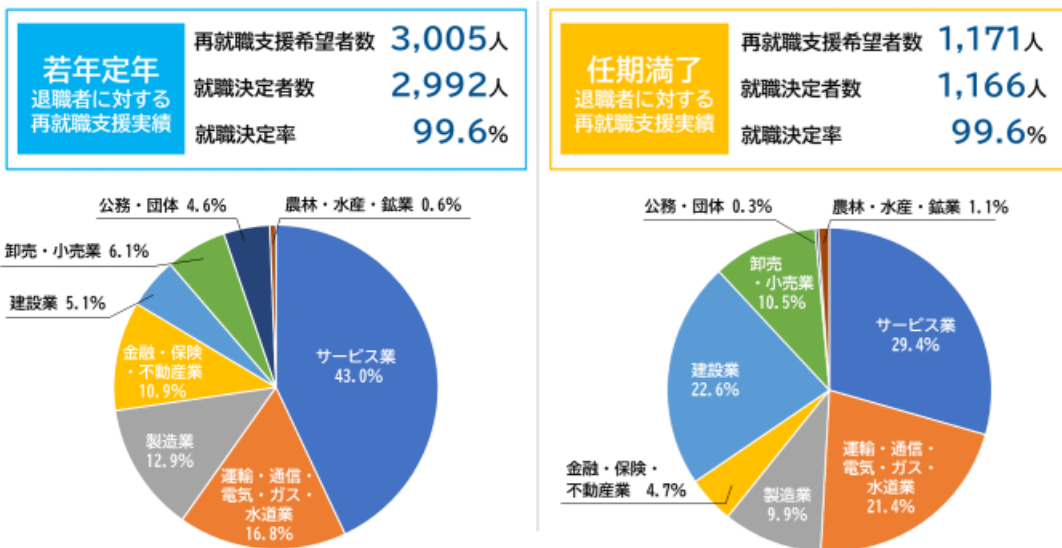
3 再就職支援施策として行っている主な職業訓練

区分	訓練課目
自動車運転	- 大型自動車 - 普通自動車 - 大型特殊自動車 - 準中型自動車 - 中型自動車 
施設機械等運転	- フォークリフト・ショベルローダー - ボイラー技士 - 車両系建設機械 - クレーン運転士 
電気通信技術	- 電気工事士 - 電気主任技術者 - 電気通信設備工事担任者 2級海上特殊無線技士
危険物等取扱	- 危険物取扱者 - 第3種冷凍機械責任者 - 高圧ガス製造保安責任者
労務等実務	- ドローン操縦士 - 警備員検定 - 運行管理者 - 海技士（3～6級） - キャリアコンサルタント
情報処理技術	- マイクロソフトオフィススペシャリスト - パソコン基礎検定 - OA機器 - ITパスポート - 基本応用情報技術者
社会福祉関連	- 介護職員初任者研修 - メンタルヘルス・マネジメント - 介護福祉士 - サービス介助士 
法務等実務	- 宅地建物取引士 - 行政書士 - 秘書検定 - 認定コーチ
その他	- 防災・危機管理教育 - ファイナンシャルプランナー - 溶接技能者（ガス・アーク溶接等） - 公務員受験対策講座 - 消防設備士 - 簿記 - 衛生管理者 - マンション管理士 - TOEIC - 防火管理者

注）各区分ごとの職業訓練課目名は受講者の多い順で記載

3

4 再就職決定状況（業種別の状況・令和5年度）

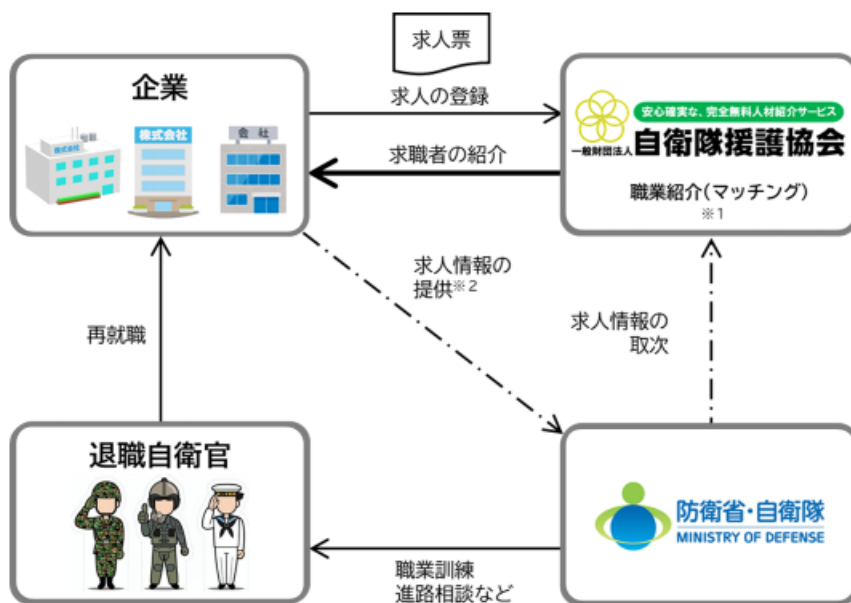


注）防衛省による再就職支援を受けた退職自衛官の再就職状況を計上

再就職先の業種は、若年定年退職者と任期満了退職者のいずれも、**サービス業(特に警備業)**や**運輸業を始めとするインフラ業が多い傾向**。

4

5 退職予定自衛官の雇用に関するフロー図



※1 退職自衛官の職業紹介（マッチング）は、一般財団法人自衛隊援護協会が厚生労働大臣の許可を受け、**無料職業紹介事業**として行っています。
なお、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）及び愛知県に就職を希望する任期制自衛官に対しては、民間の再就職支援会社（㈱/パソナ）が再就職支援を実施しています。

※2 求人情報は、一般財団法人自衛隊援護協会に直接登録できるほか、防衛省・自衛隊に情報提供すれば一般財団法人自衛隊援護協会に取次げられます。

5

6 求人票のご相談・お申込み



一般財団法人 自衛隊援護協会

■本部

〒162-0808
東京都新宿区天神町6番地 Mビル5階
☎03-5227-5400

■札幌支部（北海道地域）

〒060-0002
札幌市中央区北2条西3丁目1 敷島ビル8階
☎011-222-4888

■仙台支部（東北地域）

〒980-0014
仙台市青葉区本町1-3-9 第六広瀬ビル3階
☎022-227-2610

■東京支部（関東（含む静岡）・甲信越地域）

〒162-0808
東京都新宿区天神町6番地 Mビル4階
☎03-5227-5527

■名古屋支部（中京（含む三重）・北陸地域）

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル10階
☎052-541-0334

■大阪支部（近畿地域）

〒540-0026
大阪市中央区内本町1-2-6 パナシアビル5階
☎06-6946-7638

■広島支部（中国・四国地域）

〒730-0014
広島市中区上櫓町2-43 栗原広島ビル3階
☎082-223-6900

■福岡支部（九州・沖縄地域）

〒812-0027
福岡市博多区下川端1-3 明治通りビル別館8階
☎092-271-2462

株式会社パソナ

首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）及び愛知県に就職を希望する任期制自衛官に対する職業紹介は「株式会社パソナ」が実施しております。

■キャリアアセット事業本部ネクストキャリア支援部 自衛隊員就職支援室

〒100-6514
東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
☎03-6740-4956